

芸人・絵本作家  
**西野亮廣**  
さん

本気でやれば道が開ける

🎩 川西市への思い

川西のこのまちをずっと残していこうと思っています。このまちの商品って何だっていうところは無視できないし、来てもらうまちにならないと駄目だなあと。作品のモデルにしたら、聖地巡礼みたいながあるので。そうすると作品を届けるモチベーションになります。

要するに、まず川西に来てもらわないと。川西には色々なお店があって、生活されてる方がいらっしやるので。来てもらいやすい環境であることはもう間違いなくて、新大阪から近くて、伊丹空港からも近くて、梅田からも近くて。これをどう設計していくかっていうのは、考えますね。

🎩 「えんとつ町のプペル」に込めたエールの気持ち

「夢」とか「希望」みたいなものが、持てなくなっちゃったんで、今。もともとネット社会で、とにかく揚げ足を取られて、「夢」や「希望」が持てていなかったところに、次はコロナが輪をかけてきて、そういったことを語ることもままならないみたいな状況になっています。努力したらちゃんと報われる、むちゃくちゃ頭を使って本気でやれば道が開けるっていうところは、作品内でも作品を届ける過程でも、自分の行動でもって示したいなと思っています。それを見せると、行けんじゃん！って思うじゃないですか。入口は多少の勘違いっていうか。僕も吉本に入るとき、行けると行って行っちゃったんで。100%無理だと思ったら芸人にはなっていないわけだし。みんな最初夢を追いかけるときは、多少の勘違いみたいなものがあると思います。夢を実現させるために、形にするために、努力すると思うんですけど、一歩目は多少の勘違いがないと。

行けるかもって思わせることが、おとなの仕事だと思います。これは作品の中でも語っているし、コロナ禍においても映画を届ける過程でも。厳しいのは百も承知で、コロナ禍で映画を公開するので。来年に延期することは可能だったんですけど、いや今年やるぞって。あの手この手が打てなくなったら、じゃあ代替案を考えて、これで行こう、次はあれで行こうって、今必死でやっていて。コロナ禍でも、頭を使ってちゃんと努力すれば、届くんだったところを見せたら、後に続く人も増えるので。それが僕の役割になって思っています。

一歩踏み出そうとしている人の、エールになるといいですよ。

川西市出身。1999年、梶原雄太さんと漫才コンビ「キングコング」を結成。絵本作家としても活躍し、代表作「えんとつ町のプペル」は発行部数50万部を突破。自身が製作総指揮を務める同作の映画は12月25日金に公開予定。

**P.3** 新しいカタチの成人式「川西エキマエ Online」で、西野さんから新成人へメッセージを発信します。詳しくは3ページへ。

**P.25** 映画の公開に合わせて、中央図書館で、西野さんの絵本作品を紹介するコーナーを特設します。詳しくは25ページへ。



**CHECK & QUIZ** 次の空欄(○の中)を埋めてください。  
 1:新しいカタチの成○式 2:電子プレミアム付商品券の○選受け付けを開始  
 クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、12月10日(木)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。  
 ※11月号の正解は(適)(支)で、154件の応募がありました。

**10月末現在の人口**

男	73,936人 (-34)
女	82,392人 (-33)
計	156,328人 (-67)
世帯数	70,356世帯 (+19)

